



国立民族学博物館 友の会ニュース

MINPAKU ASSOCIATES NEWSLETTER

No.270

2021.11-12

「国立民族学博物館友の会」は「みんぱく（国立民族学博物館）」の活動を支援し、博物館を楽しく、積極的に活用するためにつくられました。

発行日 2021 年 11 月 1 日
編集・発行 公益財団法人千里文化財団

会場とオンライン併用で開催！

日本万国博覧会記念公園シンポジウム 2021

人類・いのち・万博 ——1970から2025に向けて

大阪万博（EXPO'70）が遺したレガシーである万博記念公園と国立民族学博物館が協働して、シンポジウムを開催します。

EXPO'70 の開催から 50 年の節目にあたる 2020 年は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、世界が一変し、人類が未知の脅威に立ち向かう年になりました。わたしたちは今後、どのような未来社会を描くことができるのでしょうか。「人類の進歩と調和」をテーマとした EXPO'70 から、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げる EXPO2025 への展開を踏まえ、ここ万博記念公園を舞台に、関西の知をリードする 5 名の研究者が議論します。

聴講方法は会場とオンライン（ライブ配信）からお選びいただけます。わたしたちの未来を考えるこの機会に、多くの方々のご参加をお待ちしております。

登壇者

主催者挨拶

中牧 弘允（千里文化財団理事長）

シンポジウム開催にあたって

吉田 憲司（国立民族学博物館長）

〔提言1〕

すべての「いのち」が輝く社会実現への
共創活動

西尾 章治郎（大阪大学総長）

〔提言2〕

万博におけるアフリカ表象

ウスビ・サコ（京都精華大学学長）

〔提言3〕

人類の進化といのちのつながり

山極 壽一（総合地球環境学研究所所長）

〔提言4〕

オリンピックと万国博

井上 章一（国際日本文化研究センター所長）

催しの詳細・受付フォーム

https://www.senri-f.or.jp/expo_symposium2021/
受付期間：2021年11月16日（火）まで



日時 2021年11月23日（火・祝）

13:00～16:40（開場12:30）

会場 国立民族学博物館

みんぱくインテリジェントホール（講堂）

①会場（定員160名）②オンライン（ライブ配信）より聴講方法
をお選びください。参加無料（会場参加は要観覧券）。

絶賛発売中！

2022年 国立民族学博物館オリジナルカレンダー

躍動するインド世界の布

開催中の企画展「躍動するインド世界の布」（2022年1月25日まで）の
展示資料から選びました。

人生儀礼における贈与品、神がみへの
奉納品、社会運動のシンボルなど、
多様な布の世界を、1年をとってお
楽しみください。

友の会会員価格 1,188円（税込）

定価 1,320円（税込）



躍動するインド世界の布

お問い合わせ

みんぱくミュージアム・ショップ（水曜日定休）
e-mail shop@senri-f.or.jp

オンラインショップ「World Wide Bazaar」
<https://www.senri-f.or.jp/shop/>

順次公開中！

国立民族学博物館友の会

オンラインレクチャー

みんぱくの研究者によるレクチャー動画を、
友の会のホームページで公開中です。新シ
リーズは友の会の機関誌『季刊民族学』との
連動企画。書籍とあわせてお楽しみください。

■2021年10月公開

先生、教えてください！・・・池谷 和信先生
177号特集「焼畑と文明」連動企画

■2021年7月公開

先生、教えてください！・・・川瀬 慈先生
176号特集「隣のアフリカ人」連動企画



視聴はこちらから！

<https://www.senri-f.or.jp/category/events/online/>

『季刊民族学』はみんぱくミュージアム・ショップでも取り扱っています。



みんぱくゼミナール、映画会 会員先行予約のご案内

みんぱくゼミナール、みんぱく映画会には維持会員、正会員、家族会員のみなさまを対象に先行予約がございます。
会員先行予約は該当期間中に事務局までご連絡ください。会員先行予約が定員に達した場合は、一般受付をご利用ください。
催しの詳細、オンライン予約については、みんぱくホームページ内の各催しのご案内をご確認ください。

館内催しの詳細はこちら！ <https://www.minpaku.ac.jp/event/>



みんぱくゼミナール

第515回

産後三・七日間の変化

——韓国伝統慣習から産後ケア施設まで

講師 諸 昭喜(民博助教)

日時 11月20日(土)13:30~15:00(開場13:00)

参加方法 ①みんぱくインテリジェントホール(講堂)[定員160名]
②オンライン(ライブ配信)[定員300名]

申込期間

■友の会電話先行受付(定員30名)
対象：維持会員、正会員、家族会員
※受付期間は終了しました。

■一般受付
・オンライン予約
期間：11月17日(水)まで
・当日参加受付(会場のみ、定員30名)

第516回

アボリジニ・アートはどう描かれるか

講師 平野 智佳子(民博助教)

日時 12月18日(土)13:30~15:00(開場13:00)

参加方法 ①みんぱくインテリジェントホール(講堂)[定員160名]
②オンライン(ライブ配信)[定員300名]

申込期間

■友の会電話先行受付(定員30名)
対象：維持会員、正会員、家族会員
期間：11月15日(月)~19日(金)
※先行受付は会場参加が対象です。

■一般受付
・オンライン予約
期間：11月22日(月)~12月15日(水)
・当日参加受付(会場のみ、定員30名)

第517回

大規模災害の経験を伝える

——遺構・記念碑・語り部・博物館の役割

講師 林 勲男(民博教授)

日時 2022年1月15日(土)13:30~15:00(開場13:00)

参加方法 ①みんぱくインテリジェントホール(講堂)[定員160名]
②オンライン(ライブ配信)[定員300名]

申込期間

■友の会電話先行受付(定員30名)
対象：維持会員、正会員、家族会員
期間：12月13日(月)~17日(金)
※先行受付は会場参加が対象です。

■一般受付
・オンライン予約
期間：12月20日(月)~1月12日(水)
・当日参加受付(会場のみ、定員30名)

みんぱく映画会

みんぱく映像民族誌シアター

みんぱく製作のDVD「みんぱく映像民族誌」シリーズの収録作品を上映します。

会場 シアターセブン(大阪・十三) ※館外で開催します(要予約)。

参加方法 ①シアターセブン[定員26名]
②オンライン(ライブ配信)

みんぱく映像民族誌シアター

土と火と水の葬送

——バリ島の葬式

解説 大森 康宏(民博名誉教授)

司会 南 真木人(民博教授)

日時 2022年1月22日(土)13:30~16:00(開場13:00)

申込期間

■友の会電話先行受付(定員5名)
対象：維持会員、正会員、家族会員
期間：12月6日(月)~10日(金)
※先行予約は会場参加が対象です。

■一般受付
オンライン予約
期間：12月13日(月)~1月14日(金)

みんぱく映像民族誌シアター

アシェンダ！

——エチオピア北部地域社会の女性のお祭り

解説 川瀬 慈(民博准教授)

司会 南 真木人(民博教授)

日時 2022年1月29日(土)14:00~16:00(開場13:30)

申込期間

■友の会電話先行受付(定員5名)
対象：維持会員、正会員、家族会員
期間：12月13日(月)~17日(金)
※先行予約は会場参加が対象です。

■一般受付
オンライン予約
期間：12月20日(月)~1月21日(金)

みんぱく映像民族誌シアター

王の祭り

——仮面の王国マンコン、カメルーン高地

解説 端 信行(民博名誉教授)、飯田 卓(民博教授)

司会 南 真木人(民博教授)

日時 2022年2月6日(日)13:30~16:00(開場13:00)

申込期間

■友の会電話先行受付(定員5名)
対象：維持会員、正会員、家族会員
期間：12月20日(月)~24日(金)
※先行予約は会場参加が対象です。

■一般受付
オンライン予約
期間：1月5日(水)~1月28日(金)

申込方法

■友の会電話先行受付
会場参加のみ/申込先着順/本人を含む2名まで
【申込先】千里文化財団友の会事務局
電話 06-6877-8893 (9時~17時、土日祝を除く)

■一般受付
申込先着順/本人を含む2名まで
・オンライン予約 みんぱくホームページのイベント予約サイトよりお申し込みください。
・当日参加受付(ゼミナールのみ) 11時から本館2階みんぱくインテリジェントホール(講堂)前にて受け付けます。

◎参加無料。ゼミナールの会場参加の方には入場整理券を当日11時から本館2階みんぱくインテリジェントホール(講堂)前にて配布します。

感染予防に ご協力 ください

感染症対策、それに伴う来館者のみなさまへのお願いをみんぱくホームページで公開しています。みんぱくでは当面のご来館に際しては、オンラインでの事前予約をおすすめしていますが、**友の会会員は入館予約が不要**です。ご入館の際は1階受付カウンターで会員証をご提示ください。同行者が非会員の場合はオンラインでの入館予約をおすすめください。スムーズにご入館いただけます。また、催しの参加予約をされている方も入館予約は不要です。



11月・12月のイベントスケジュール

◆特別展

11/30(火)まで「ユニバーサル・ミュージアム
——さわる!“触”の大博覧会」

◆企画展

2022/1/25(火)まで「躍動するインド世界の布」

●友の会講演会【要予約】

11/6(土)寺村裕史(※)、12/4(土)上羽陽子(※)

●みんなくゼミナール【要予約】

11/20(土)諸昭喜(※)、12/18(土)平野智佳子(※)

●みんなくウィークエンド・サロン

11/7(日)豊山亜希・上羽陽子、11/21(日)園田直子

11/28(日)広瀬浩二郎、12/5(日)鈴木英明

12/12(日)新免光比呂、

12/19(土)岩谷彩子・上羽陽子、12/26(日)上羽陽子

●研究公演【要予約】

11/13(土)「身体で聴く『土の音』——触れて打つ、揺らして揺る」(※)

●みんなく映画会【要予約】

11/7(日)「そして賢女はいなくなった——ドキュメンタリーで辿る盲目の女性旅芸人の実像」<受付終了>
11/23(火・祝)「世界の感触を取り戻せ!——目の見えない者は、目に見えない物を知っている」(★)

●その他の催し

11/3(水・祝)、11/14(日)、11/20(土)

特別展関連ワークショップ【11/3以外は要予約】

11/13(土)クロストーク「布と空間デザイン——インドの躍動感を伝える」(★)<受付終了>

11/23(火・祝)日本万国博覧会記念公園シンポジウム
「人類・いのち・万博——1970から2025に向けて」

(※)【要予約】

【館外での催し】

◆巡回展

12/5(日)まで「ピース——アイヌモシリから世界へ」
会場:国立アイヌ民族博物館(北海道)

■催し

11/12(金)公開講演会「流動化する家族のかたち——少子高齢社会を文化人類学から考える」

会場:日経ホール(東京)(※)【要予約】

- ◆都合によりスケジュールを変更する場合があります。
- ◆予約の必要な催し、すでに満席になっている催しがございます。また、会場とオンライン配信の併用(※印)、もしくはオンライン配信のみ(★印)で実施する催しもございます。詳細はホームページをご確認ください。
- ◆イベントの参加には必ず会員証をご持参ください。

友の会講演会のご案内

事前申込先着順です。友の会ホームページ内の受付フォームをご利用ください。

ご参加は下記の会員種別のみなさ様が対象です。

維持会員、正会員、家族会員、ミュージアム会員、キャンパスメンバーズ、
特別フリーパスをお持ちの方

・みんなく館内でのご参加は、第5セミナー室(定員42名)が満席の場合、中継会場(第3セミナー室/定員17名)にご案内します。

・東京講演会は、会員以外の方にもご参加いただけます(一般参加は資料代500円)。オンライン配信はございません。

第519回

参加方法をお選びください(会場もしくはオンライン)

【企画展「躍動するインド世界の布」関連】

着るだけではない布

——役割や機能に注目して

講師: 上羽 陽子(民博准教授)

日時: 12月4日(土)13:30~14:40(開場13:00)

参加方法: ①第5セミナー室での参加

②オンライン(ライブ配信)での参加

これまでインドについては、一枚布を巧みに変形させて、多様にまとう着衣文化があることが注目されてきました。しかし、インドにおける布は、衣装としてだけでなく、人生儀礼における贈与や、神がみへの奉納、社会運動でのシンボルといった多様な役割を担っています。本講演では、企画展の概要と、具体的な事例として女神儀礼用染色布について紹介します。

受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/519tomo/>



第520回

参加方法をお選びください(会場もしくはオンライン)

家を廻る芸能のいま

——伊勢大神楽の活動を中心に

講師: 神野 知恵(人文知コミュニケーター、民博特任助教)

日時: 2022年1月8日(土)13:30~14:40(開場13:00)

参加方法: ①第5セミナー室での参加

②オンライン(ライブ配信)での参加

世界各地には、寺社や舞台で演じる芸能だけでなく、芸能者が家々を訪れて演じる芸能が見られます。日本にも専業芸能者による「門付(かどづ)け」が多様に存在しましたが、その多くは戦後に姿を消しました。今回の講演では、現在も西日本で厄祓いの巡行を続ける伊勢大神楽について紹介し、彼らの活動の継続性の理由を探ります。

受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/520tomo/>



ぼくのみんぱく日記

画・中川洋典



お待たせしました。
東京講演会、再開です!

再開後、第1回目の東京講演会は、特別展「ユニバーサル・ミュージアム」に関連した話題です。実行委員長の広瀬先生とともに、改めて「触」の可能性をさぐります。

第129回東京講演会

会員以外の方にもご参加いただけます

【特別展「ユニバーサル・ミュージアム——さわる!“触”の大博覧会」関連】

なぜさわるのか、どうさわるのか

——触察の新展開をめざして

講師: 山本 清龍(東京大学大学院准教授)、広瀬 浩二郎(民博准教授)

日時: 12月18日(土)10:30~12:00(開場10:00)

会場: 日本点字図書館(東京都新宿区高田馬場)(定員40名)

※友の会会員 無料、一般 500円(資料代)。オンライン配信はありません。

「触察」は視覚障害教育の分野で頻繁に使われる用語です。世の中には、さわらなければわからないこと、さわると、より深く理解できる事物の特徴があります。視覚的な観察に偏る現代人の日常生活に「触察」を取り入れることで、どんな変化が生じるでしょうか。野外活動・観光のユニバーサル化に取り組む最新の研究動向を紹介します。

受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/129tokyo/>



■第515回 ■2021年8月7日(土) ※オンライン配信で開催

呪術を理解する

——ヴァヌアツの邪術をめぐって

白川 千尋 (大阪大学教授)



邪術による病気にも使われるヴァヌアツの薬草の汁

呪術とは何でしょうか。『文化人類学事典』(丸善出版、二〇〇九年)には、「通常の作用や能力によらず超越的力に働きかけて、特定の現象を目的に引き起こすための行為または知識」(四四四ページ)とあります。この定義によるならば、呪術には、占いや願掛けから験担ぎ、さらには厄払いのような儀礼などまでじつにさまざまなものが含まれます。そう、呪術は遠く離れた異国の地だけに存在する珍奇な文化などではなく、わたしたちの周りに

もみられる身近なもののなのです。

そうした呪術のなかでも本講演ではとくに、意図的に相手に好ましくない作用(病気や死といった不幸)を与えるために使われる邪術に焦点を当て、南太平洋の島国ヴァヌアツの事例を取り上げました。また、邪術や呪術を文化人類学者たちがどのように理解しようとしてきたのかという点にも触れるべく、この分野の代表的研究者であるエヴァンズ・J・プリチャードの議論にも目を向けました。彼は南スーダンでのフィールドワークに基づき、呪術を不幸の説明原理と位置づけました。なぜ特定の人物が特定の状況で特定の不幸に見舞われることになったのか。科学的には偶然としかいいようのないそうしたものが生じた理由を説明するものとして、呪術は存在していると捉えたわけですね。この議論には、ヴァヌアツの事例にも当てはまる部分があります。が、課題もないわけではなく、講演では最後にその点を踏まえて今後の研究の方向性についても展望してみました。

■第516回 ■2021年9月4日(土) ※オンライン配信で開催

金曜日には墓地で会いましょう

——イランにおける死の多義性と「英霊」

黒田 賢治 (民博特任助教)

イランのおもな宗教では、死に關連するものとして魂と終末というふたつの重要な考え方があります。多数派の宗教であるイスラームでは、死は現世における肉体の終焉と魂の状態で終末の日を待つ始まりを意味しています。イラン暦の新年の前夜、およそ春分の日の前夜を中心に、墓の下で眠る魂に会いに墓参りの人びとで墓地は賑わいます。ところが、殉教者とよばれる人たちが埋葬された区画は、毎週金曜日に訪れる人で賑やかになります。

殉教者は命を賭して神の教えを証明した人のことです。今日のイランでは、一九七九年の革命後にイスラーム共和制という政治体制が樹立されており、殉教者とは国のために命を捧げた人々を指すようになり、殉教者のうちでもっとも多く占めるのが、一九八〇年から八年にわたって隣国イラクとの戦争で命を落とした二万人以上にも上る兵士や民間人などの戦没者です。殉教者は、殉教を遂げるように神に選ばれ、来世で樂園を約束された特別な存在です。加えて肉



テヘラン市共同墓地で「年忌法要」に集まる家族

体が朽ちた後も、魂だけではなく不可視の肉体をもつて生き続け、金曜日に墓に戻ると言われています。遺族は、殉教者は死んでいないと口にする一方で、最愛の人の喪失を嘆きます。殉教という考えは、悲嘆にくれる遺族たちにとって命が消えた理由から目を逸らせてくれます。しかし墓石の前で語りあいながら死という現実に向き合うことになり

ます。

本紙掲載の情報は、2021年10月20日時点で決定している内容です。新型コロナウイルス感染症の影響等により急遽予定を変更する可能性があります。

お問い合わせ、お申し込みはこちら

友の会はいつでも、どなたでもご入会いただけます。
国立民族学博物館友の会
公益財団法人 千里文化財団

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10-1 (国立民族学博物館3階)
電話 : 06-6877-8893 (平日9:00~17:00)
FAX : 06-6878-3716
e-mail : minpakutomo@senri-f.or.jp

国立民族学博物館 最新情報



ホームページ
<https://www.minpaku.ac.jp>



Facebook
<https://www.facebook.com/MINPAKU.official>

国立民族学博物館友の会 最新情報



ホームページ
https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/



Facebook
<https://www.facebook.com/minpakutomo/>